

## 第 2 回 伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要

開催日時	令和 4 年 2 月 8 日（火）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
開催場所	伊丹市役所議会棟 3 階 議員総会室
出席者	青木委員、直田委員、田爪委員、堤委員、細井委員、若本委員、和田委員
欠席者	太田委員
事務局	総合政策部長・政策室長・施設マネジメント課長他
傍聴者	1 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 報告 (1) 第 1 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要</li><li>3. 議題 (1) 公共施設の総量の変化に対する評価について (2) 計画期間及び総量規制の目標値の見直しについて (3) 公共施設マネジメントの推進に関する基本的な方針の見直しについて</li><li>4. その他</li></ol>
資料	資料① 第 1 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要 資料② 第 1 回委員会における委員発言要旨及び今後の対応 資料③ 公共施設の総量の変化に対する評価について 資料④ 計画期間及び総量規制の目標値の見直しについて 資料⑤ 公共施設マネジメントの推進に関する基本的な方針の見直しについて

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員総数 8 名のうち 7 名が出席しており、本委員会が成立していることを確認。</li> <li>・録音、写真撮影の確認</li> <li>・資料確認</li> </ul> <p><b>2 報告（1）第 1 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要</b> （事務局から、資料①及び②について説明）</p> <p><b>3 議題（1）公共施設の総量の変化に対する評価について</b> （事務局から、資料③について説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来負担の軽減、公共施設の適切な維持管理が着実に実施できたという証拠、費用的にどのくらい貢献しているのかという点もお示しいただきたい。</li> <li>・10%削減や 200 億円削減は、実は本来の目的を達成するのに適切な指標ではなく、別の指標で見た方が良かったという結論もあるのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば野外活動センターについて、民間譲渡により年間数千万円のランニングコスト減少に寄与している。その他、中央公民館の機能移転については運営費自体が極端に減少したというよりは施設の維持管理費光熱水費等が減少、それと建物の将来負担が減少している。こうした取り組みを総評して施設マネジメント、ハードの取組だけによるものではないが、市全体として健全化判断比率が改善している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来目指すべきところを考えるとときに重要な点かと思うので、細かいところをちゃんと分析された方がいいのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床面積の増加による財政負担の増加は、過去の分に関しては発生していないという観点から、現在の床面積増加は特にネガティブな評価はしなくてもいいのでは。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤解を生みやすいところであり、財政負担と床面積に相関関係が必ずしもあ るわけではないと、ちゃんと市民に説明いただくことが大事。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除却したところはもう解体して更地になっているのか、あるいは残った建物を別の用途に再利用しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除却イコール解体とご理解いただきたい。</li> </ul>

<b>議題（２）計画期間及び総量規制の目標値の見直しについて</b> （事務局から、資料④について説明）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年度を基準に平成 42 年までに 10%減というような目標を立てた時の考え方に、財政の負担に関する何らかの目標値は関連づけて考えられないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政面での指標としては、行財政プランで公共施設マネジメントにより 30 年間で 200 億円を圧縮するという目標値を設定している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>10%削減はわかりやすいが、補助的な指標を設けることは検討できないか。というのも、近年、施設には人を大切にするという観点で時代とともに基準が変わり、1 人当たりが必要とされる面積が広がる傾向にある。エネルギー使用量やランニングコストなど 3 つ 4 つ補助的な指標があれば説明が容易になるのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>床面積だけでの効果測定は難しい面もある。行財政プランの中で個別施設のシーリングをかけるという取組もしており、指標を増やしすぎるとフォローしきれないといった側面もある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量などは捕捉していただきたい。省エネなど取組が容易な場合もあるので、できることからやっていくという指標があってもいいのでは。将来的にどこをみるべきか、考えていただければ。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱費特に電気に関しては環境マネジメントシステムで別途計測している。ただ、これを直接コスト換算してというところまでフォローしきれてない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs の観点から、エネルギーに関する指標は必要ではないか。補助的な指標の必要性について、検討していただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルに向けた国の動きを受けて、伊丹市においても来年度、実行計画を策定する予定。実行計画の指標をたてるときに、公共施設の運営コストとの関連についても検討していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的な人口減少を考えると、ランニングコスト等の負担を後の世代にかけないため、やはり 10%削減が必要では。実際に小学校区の自治協議会や自治会では、自治協の拠点や公共利用施設等のあり方を検討する機会があるが、「10%削減」は自治会関係や自治協に携わっている人間であればかなり意識している。地域でも、「10%削減」を念頭に置いてやっているなので、その継続性をアピールしていくためにも 10%削減が目標値でいいのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設単価は変わらない想定か。太陽光パネル設置などを加味すると建設単価が上がってしまうのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>物価変動は考慮しているが、ユニバーサルデザインや環境面での機能付加に</li> </ul>

	<p>かかる費用は、加味していない。</p> <p><b>議題（３）公共施設マネジメントの推進に関する基本的な方針の見直しについて</b></p> <p>（事務局から、資料⑤について説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設分類について、法令に基づき自治体に設置義務のある施設といった観点での分類も必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に定める自治事務、その他市場性や民間代替性など、組み合わせて考えたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の再配置の優先順位と日常の維持管理の優先順位を混同しているのでは。維持管理の観点からは、衛生管理が重要な病院が最優先の部類に入っていないのは違和感がある。一方、小中学校の再配置を最優先で検討するのもおかしい。もう少し表現等の整理が必要では。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理や更新の優先順位の整理という形で計画策定時に位置づけているが、ミスリードになる可能性もあるので、表現及び枠組みについては見直しを検討したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>優先順位は表現として適切なのか。管理水準であれば病院などはすごく高くなるが小学校の教室は低くなる。ただし避難所や学校であれば耐震性能や安全の水準は高めに設定することになる。優先順位という表現は、きれいに整備された雰囲気はあるが、言葉遣いや順位付けもしくは指標の上下があるのかは、よく検討すべき。誤解がないように整理されることが重要。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設分類に市営住宅の記載がないが、どう考えられているのか。老朽化して空き住戸が多くなっている市営住宅をうまく建替えられれば、減らしていけるのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅は市全体の床面積の約 20%を占めるため、別途計画を立てて進捗管理している。基本的な考え方としては、原則として建替えを行わず民間の住宅ストックを活用しながら、需要に対応している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用率などで評価するのは賛成だが、建てた当時と状況・役割が違ってきている。まずその分類や位置づけについて私たちにも分かるように見えるようにしてほしい。また、福祉施設と一言言ってもサンシティホールみたいな老人の趣味の施設もあれば、アイ愛センターみたいな障害者が自立するための拠点施設もある。同じ分類の中でもいろいろな施設があるので、ひとくりにまとめてフローチャートに進んでしまうのはどうなのか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施設としてホビーアミューズメント的な施設から障害者の自立支援施設</li> </ul>

事務局	<p>を一括りにすべきでない、役割を終えた施設もある、との貴重なご意見。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次評価 2次評価は抽象的な書き方なのに施設分類のところだけ具体的な施設名が出てくるので、考え方の方針を書くべきでは。施設分類の書き方は、慎重にならないといけない。</li> <li>・施設分類に関しては、法令事務等の位置づけも踏まえ、概念的な考え方の分類に変更したい。また、フローの面もしっかり市民に見えるようにしていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方の「また施設を単なる設置目的を達成するための…」とある箇所について、設置目的を度外視するような表現に感じる。資産であるかどうかは二次的なファクターであり、この表現に違和感を持った。設置条例を変えないまま、なし崩し的に目的が変わってしまうとすると問題ではないか。市民ニーズの変化と設置条例はきちんと連動させるべき。</li> <li>・ユニバーサルデザイン及び資産活用の方針について、どちらも長期的な計画なり視点があつてこそ事業ができるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例に定める設置目的を達成していることは前提として、ネガティブな考え方ではなく、時代に応じて柔軟に対応すべきであるとの考え方に基づいた表現とご理解いただきたい。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤解のないよう、表現を工夫していただきたい。</li> <li>・なお、ユニバーサルデザインに関しては、総量を減らしていく中で再編を計画通りに進めていくことは非常に難しい面もあり、再編の進捗に合わせて大規模改修等を行う時に、臨機にユニバーサルデザインの対応をしていくべきではないか、との考え方によるもの。資産活用の方針についても、現在ストックされている土地は主として端切れ地であること、伊丹市においては用途廃止された土地は基本売却できる、という背景もあり、計画的に対応することは難しいと理解している。</li> </ul>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端切れ地ばかりであれば、PPPの導入に実現性はないのか。</li> <li>・端切れ地であってもコインパーキング事業などは導入可能であり、ニーズに応じて対応していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を地域の拠点にと聞くとハードルが高く聞こえるが、体育館や夏のプールなどすでに地域に開放している施設もある。学校全体ではなく、個別の機能や建物を当てはめられるようなフローにしてもいいのではないか。</li> <li>・他の施設の機能を学校で受け入れることについては賛成できる部分もあるが課題も多い。行政だけで完結せずにぜひ生徒保護者とも協議していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えばプールにも競技用プールや学校プールがあり、いろんな用途がある。利用目的や規模などの観点も評価フローに反映すべきであるため、施設分類か</li> </ul>

	<p>ら降りてくる評価フローの組み合わせは、様々なパターンが想定されるのではないか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅に関して民間ストックの活用の話が出たが、他の施設でも保育所などは民間が増えており、今持っている公共施設の中でも、もしかしたら民間に任せられるところがあるのではないか。将来本当に必要なのかを考えて、任せられるところは任せて、少しでも減らしていけるような形になればいいのでは。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>民に任せられるものは民に、という官民のすみ分けに関する重要なお指摘。情勢の変化により官民の競争が起きている分野もあるため、柔軟に評価できる視点が必要。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所・住宅・プールなど、民間にできることはどんどん広がっている。そうした視点も、評価フローに反映したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価フローにおける「他の計画・地域の実情を考慮」は、一番上にくるべきではないか。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次評価・2次評価してから検証・現状分析をするのは遅いかもしれない。</li> <li>1次評価及び2次評価により機械的に出たものが最終結果となるべきか、との観点から、評価結果を踏まえて内部及びステークホルダーのヒアリングを行い、出口のところでフィルターをかけるべきではないか、との考え。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この最終評価結果は計画でも何でもないので、一切変えてはいけないところ。ファジーな部分を設けて結果を出すのは、絶対やめるべき。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次評価2次評価を経て、さらにファジーにというのは曖昧過ぎるのでは。</li> <li>評価結果に基づいて、実施の段階において地域の実情を反映させていく、そういう考え方に立つべきかもしれない。次回に向け工夫して資料を提示したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「良」という表現は、施設に対する評価として適切ではない。</li> <li>病院やホールなどの大規模施設は、利用者が市域を越えてやってくる。近隣市との役割分担など、広域的な視点をもつべき。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連携は重要な視点。それぞれの自治体で持つべきなのか、評価の視点としては必要。</li> <li>広域連携・広域化については、公共施設マネジメントの中でも大きな取組として注目されているが、なかなか進んでいないのが実態。しかしながら、広域化の視点は、どこかに位置づけるべく検討したい。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近導入が進んでいる施設包括管理に関して、どのように考えているのか。</li> <li>包括管理に関して、現状、特段の検討はしていない。技術職員を確保したうえで対応しているのが実情であるが、他市の動向なども踏まえ、長い目で検討していきたい。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保ができているとの、非常に心強い回答であった。将来的に、職員確保の状況によっては、検討する可能性もあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な視点で考えれば、今後の職員確保の状況に応じて積極的な導入が必要となるかもしれないので、注視していきたい。</li> </ul>
	<p><b>4 その他</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会：5月30日を予定</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の会議はこれで終了する。次回についても、万障繰り合わせの上ご出席いただきたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以 上</p>

以上のとおり、第2回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会議事録として確認します。

令和4年 月 日 委員 \_\_\_\_\_

令和4年 月 日 委員 \_\_\_\_\_